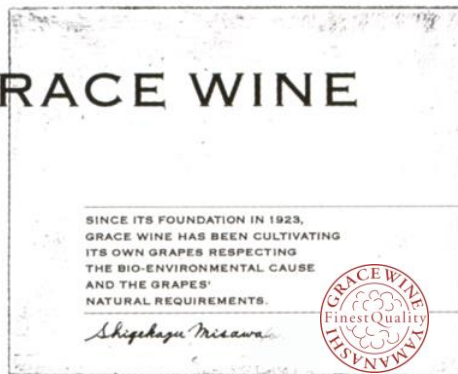


アンフュージョンお奨めの日本ワイン

ブドウ畑と食卓のあいだを繋ぐのは当店です

SINCE 1923

山梨県・勝沼町 中央葡萄酒株式会社



1923年、中央葡萄酒は日本のブドウとワイン産業の発祥地である勝沼町に創業。主にグレイスワインの名で広く親しまれています。伝統を踏まえ、土や気象と対話し、時代の技術を学びながら、ワインの品質を高める為の努力を重ねています。風土の香りは、自然に対する人間の働きかけの反映であるとの信念を胸に、日本のワインが世界の銘醸ワインの中で明確な位置を占める為の一翼を担いたいと考えています。土と風土、栽培努力が一体となった、凝縮度の高いブドウによるワイン造りを大切にしています。



「甲州種は、2010年にワイン醸造用品種として国際登録され、世界のワインの仲間入りをしました」



グリド甲州 2015

GRIS DE KOSHU

山梨県 勝沼町産甲州種主体

甲州種特有のブドウの果皮に含まれる渋み成分と、ほのかな甘みと酸味の調和したボリューム感のある味となります。グリは、甲州の果皮の色を表す仏語です。(ドは、英語の「of」と同意) ピノ・グリと同様緑色と黒色の中間の薄紫色をした果皮の色をブドウ専門用語では、グリと呼びます。

¥4,000